

Aomori Ikuboss Case Study

あおもり イクボス ケース スタディ



青森県環境生活部青少年・男女共同参画課

「イクボス」とは、職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績においても結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことのできる上司(経営者・管理職)のことを指します。

人口減少や急速な高齢化の進展等、時代の転換期にある今、従業員がいきいきと働き、業績も上がる職場づくりを実現していくためには、制度や仕組みづくりとともに経営者や管理職等によるイクボスの取組が、これからの時代にマッチした企業経営や組織運営マネジメントとして注目されています。

県では、県内企業等においてイクボスの取組がますます実践されていくよう、イクボスのいる職場モデルとして優れたエピソードを募集し顕彰する「あおりイクボスアワード」を平成30年度に実施しました。

本冊子では、あおりイクボスアワードを受賞した5社のエピソードをもとに、それらの職場の様子やボスと部下との関わり方等を御紹介します。

平成31年1月



目次

ページ	ポイント	あおりイクボスアワード受賞者
1	イクボスの想いが社員を動かす	弘鉄電気工事株式会社 小野 貴司さん
2	個々の事情に応じた働き方を応援	株式会社サンライズ 齋藤 由美子さん
3	「ライフの充実があってこそそのワークの充実」を公言	株式会社I・M・S 引間 由実子さん
4	コミュニケーションのクッション役	株式会社佐々木建設工業 豊川 多恵子さん
5	各部署でイクボス宣言	株式会社青森ダイハツモーターズ 総務部 今 有紀さん
		株式会社青森ダイハツモーターズ 販売支援部 中村 ひろ子さん、吉田 奈津子さん
		株式会社青森ダイハツモーターズ 総務部経理グループ 出町 修平さん
		株式会社青森ダイハツモーターズ 営業本部 前田 まゆみさん

イクボスの想いが 社員を動かす

弘鉄電気工事株式会社
小野 貴司さん



イクボス:代表取締役 佐々木 一臣さん

代表取締役の佐々木一臣さんは、平成30年に「イクボス宣言」を行って社内に周知したほか、会社としてあおり働き方改革推進企業の認証を取得するなど、働きやすい会社づくりに取り組んでいます。

イクボス宣言する前からワーク・ライフ・バランスに理解があり、急に家族の退院の迎えが必要になった時に「すぐ行ってあげなさい」と快諾してくれたり、忘年会の時に子どもの預け先がないときには「子どもと一緒に連れてきなさい」と言ってくれ、子どもと一緒に職場の忘年会に参加したりしたことなどが、応募者の小野さんにとって、とても感激した思い出となっています。

ボスのこうした取組が、会社全体に笑顔が増えるきっかけになっている等、ボスの姿勢と社内制度とが両輪となって機能しています。

また、部下自身が「仕事と家庭のどちらかを優先しなければいけない時でも、少しでもいい方向にできるように、ボスに頼るばかりでなく、社員同士でもワーク・ライフ・バランスについて考えていこう」という気持ちになるなど、会社全体に好影響を与えています。

佐々木社長のイクボス宣言

- 私は、社員が早く帰れる職場環境づくりに努め、自らも早く帰ります。
- 私は、年次有給休暇やその他の休暇を取得しやすい職場環境づくりに努めます。
- 私は、介護や子育てなど、仕事と生活の調和を図りながら頑張っている社員を応援します。
- 私は、ボランティアや地域活動に積極的に参画している社員を応援します。

ポイント } ボスが変われば組織が変わる

部下の仕事と家庭の両立を応援するイクボス式マネジメントをボスが推進することで、会社全体に笑顔が増え、部下もボスの期待に応えるように、自分たち自身でワーク・ライフ・バランスを考えるようになっていきます。まず、上司が一步を踏み出しましょう。

会社概要

弘鉄電気工事株式会社

所属の職員数21名。電気工事を中心に、電気通信、消防設備等の工事を請け負っている。弘前移住者応援企業として県外からの移住時に取得する住居の新築・改修の際、当社で施工する工事金額の5%割引を実施。(年5件程度)

- 住所:〒036-8093 弘前市城東中央2丁目3-4
- TEL:0172-28-0011 FAX:0172-28-0013
- URL: <http://www.hirotetu.co.jp/>

取組

- 弘前市女性活躍推進企業認定(H29.7)
- 弘前市子育て応援企業認定(H29.12)
- あおりイクボス宣言企業登録(H30.2)
- あおり働き方改革推進企業認証取得(H30.3)など

個々の事情に応じた働き方を応援

株式会社サンライズ
齋藤 由美子さん



左/イクボス:管理事業本部長 滝内 秀晃さん

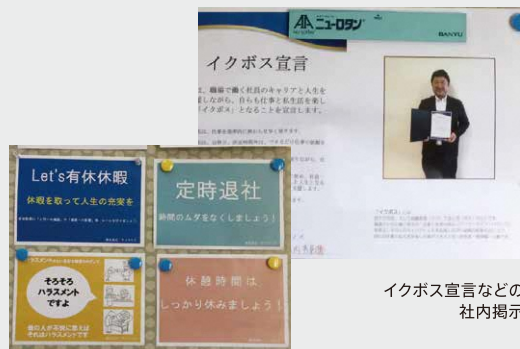
管理事業本部長の滝内秀晃さんは、従業員と定期的に面談し、仕事と家庭が両立できる働き方などについて相談にのっています。

二児の母である応募者の齋藤さんは「家族の時間を大切にしながら働きたい」と考えていましたが、勤務時間の関係で夕食の時間が遅くなってしまったり子どもの送迎に間に合わないことが続き、自身の働き方について考え直す必要があると感じていました。そのようなとき、仕事の状況と希望する働き方について具体的に相談することができ、勤務始業時間の繰り上げが実現したといいます。

また、社内には普段から、滝内さんのイクボス宣言や、従業員のワーク・ライフ・バランスを応援するメッセージ等が掲示されています。ボスは、家庭の事情で急に休みをとらなければならない時にも「大丈夫。あとは任せておいて!」と声かけをしてくれるとのことで、安心して制度を利用し育児に取り組むことができる雰囲気職場内にはあふれているとのこと。

イクボスを中心に、「お互いさま」の気持ちが育われ、従業員同士もお互いの仕事と生活の両立のために協力し合っており、齋藤さんは、「ママとしてどう働きたいかを考えた時、プライベートも充実して、心が満たされ、仕事もやる気がでる!そんな職場」と感じています。

株式会社サンライズでは、出産した女性の継続就業率100% (過去5年間で13名出産し退職者は0) を達成しています。



イクボス宣言などの社内掲示

ポイント▶個別面談で部下の「ライフ」に応じた働き方を実現

部下が抱える事情はそれぞれ異なります。部下の「ライフ」について把握しながら、仕事をいかに両立させていくか一緒に考えていきましょう。

部下と相談しながら業務を任せることで仕事への意欲も高まります。

会社概要

株式会社サンライズ

・所属の職員数129名。有料老人ホームや訪問介護事業所を運営。
・社員の9割が女性で管理職の6割が女性。
・2年前の新社長就任がきっかけで、働き方改革に積極的に取り組み始めた。

●住所:〒039-2407 上北郡東北町旭南3丁目296-2
●TEL:0176-58-1551 FAX:0176-58-1060
●URL:<https://grandhills-o.jp/>

取組

- あおもりイクボス宣言企業登録 (H30.8)
- あおもり働き方改革推進企業認証取得 (H30.10)

「ライフの充実があって こそそのワークの充実」を 公言

株式会社I・M・S
引間 由実子さん

イクボス：
代表取締役 三上 友子さん



代表取締役の三上友子さんは、「人数が少ない会社だからできることがある」との考えのもと、時短勤務や時差出勤、テレワーク、遅番専門など、多様な働き方の仕組みを自社に積極的に取り入れています。

子育てと仕事の両立に悩む従業員には「何も難しいことではない。できる時間でやるべきことをしっかりとやってくれたらそれでいい。しっかりとお子さんとの時間をとってください」という言葉とともに、具体的な改善策として、必要な期間を有給休暇で対応する案を提案してくれた、とのこと。こうした土台があるため、自身のスキルアップのための講座の受講や好きなアーティストのコンサートに出向く職員も遠慮をせず有給休暇を取得できる職場となっています。

そのほか、従業員の家族ぐるみの夏キャンプや料理教室、ヨガ教室なども積極的に開催されているとのこと。

また、ボス自らが「ライフの充実があってこそそのワークの充実である」と言い、自ら余暇を楽しむ中で出会った人との交流や経験を社内に反映させており、引間さんは「常にワクワクがある会社」としています。

さらに、引間さんは、「こうしたイクボスの背中を見て職員も同僚や後輩たちのワーク・ライフ・バランスのことをしっかり考えるようになり、イクボスとして育てられていると感じる」としており、ワーク・ライフ・バランスの促進と、仕事での結果や成果とを両立させようとするイクボスのあり方が、次のイクボスの育成にもつながっています。



社内の各種イベントの様子
従業員同士のヨコのつながりもでき好評とのこと

ポイント } イクボス自ら「ライフ」を楽しむ

部下のワーク・ライフ・バランスへの配慮によって、ボスの負担ばかりが増えてしまっはいけません。業務の効率化や、組織として業務にあたる体制をつくるなど、ボス自身も「ライフ」を楽しみ「ワーク」も充実させる方法を工夫して「イクボス」を目指しましょう。

会社概要

株式会社I・M・S

・所属の従業員数30名。ITスキルやビジネスマナーなどの企業向け各種研修を実施。
・従業員30名で20代から70代まで幅広い年代の職員が従事。
・「青森県若年者就職支援センター」及び「ネクストキャリアセンターあおもり」を県から、
「ひろさき若者サポートステーション」を青森労働局から、それぞれ委託を受けて運営。

●住所：〒036-8182 弘前市土手町134-8
●TEL：0172-32-5801 FAX：0172-32-5801 ●URL：<https://ims-hiroasaki.com/>

取組

- 弘前市女性活躍推進企業認定 (H29.3)
- 弘前市子育て応援企業認定 (H29.3)
- あおもりイクボス宣言企業登録 (H29.12)
- あおもり働き方改革推進企業認証取得 (H29.10) など

コミュニケーション のクッション役

株式会社佐々木建設工業
豊川 多恵子さん



左/イクボス:営業課長 菊池 晴巳さん

営業課長の菊池晴巳さんは、自らを「コミュニケーションのクッション役」と話し、経営者・管理職等と新入社員との間の立場を活かして、若手の悩みや意見、仕事上の課題等に耳を傾け、バックアップしています。

常に社員に声がけして会話の窓口となり、時に冗談を交えて場を和ませるなど、年齢・性別や立場により生じる話しづらさを解消し、会社全体の風通しを良くするキーパーソンとなっています。

また、業務上困っていた新入社員が悩んで立ち止まっている際、アドバイスをして作業を促し、できるだけ残業をしなくて済むようにフォローするなどのサポートを行っており、新入社員の表情にも自信が見られるようになったといいます。

技術職と事務職間の認識の違いや考え方の相違等に対しても双方の意見を聴いて調整してくれるなど、会社になくはないイクボスとして信頼されています。

株式会社佐々木建設工業は、県内建設業で唯一の「えるぼし」認定企業で、中途採用により女性を多数採用したり、平内支店の支店長に女性を配置したりするなど、会社としても女性活躍のための取組を進めています。

県内の建設業で唯一の「えるぼし」認定



※「えるぼし」認定制度:女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を作成・届出した企業のうち、取組の実施状況が優良な企業は、申請により厚生労働大臣から「えるぼし」の認定を受けることができる。(取組状況により3段階に分かれる)

ポイント▶部下との分け隔てないコミュニケーション

風通しの良い職場環境づくりのために、年齢・性別等を超えたオープンなコミュニケーションを心がけましょう。そうした関わりを通じて業務上の悩みや不安を知り、支援につなげることで、若手社員も自信をもって働けるようになることが期待できます。

会社概要

株式会社佐々木建設工業

・建設業。従業員50名。
●住所:〒030-0811 青森市青柳1丁目16-93
●TEL:017-721-3555 FAX:017-721-3556
●URL: <http://www.sasakikk.jp/>

取組

- あおもり働き方改革推進企業認証取得 (H29.6)
- あおもりイクボス宣言企業登録 (H30.4)
- 女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」3段階目認定 (H30.3)

各部署でイクボス宣言

(株式会社青森ダイハツモーターズ)

①総務部

今 有紀さん

イクボス:

総務部長 佐藤 章さん

②販売支援部

中村 ひろ子さん

吉田 奈津子さん

イクボス:

室長代理 鎌田 剛さん

③総務部経理グループ

出町 修平さん

イクボス:

課長 船水 喜亨さん

④営業本部

前田 まゆみさん

イクボス:

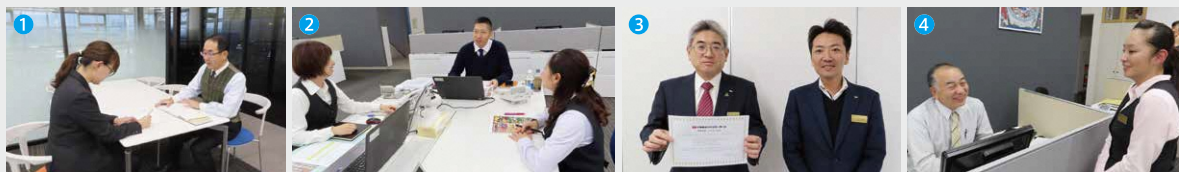
副本部長 美曾作 良穂さん

株式会社青森ダイハツモーターズでは、全ての部門長、店長などの管理職が、自分
はイクボスとして何をやるのかということを考え、自分なりのイクボス宣言を行って
います。

受賞エピソードそれぞれのイクボスは、部下が仕事と家庭の両方を大切にできる
ように、休暇の取得への配慮や子育て中の社員に対する出勤体制の考慮など、個々
の希望や状況に応じた仕事と家庭の両立の実現を応援しており、複数の部署で、働
きやすい職場環境が作られています。

また、イクボスのこうした対応により、部下自身も業務の効率化や前倒ししてでき
る業務がないか考えるようになった等、社員側にも、プライベートな生活を充実させ
るだけではなく仕事に責任をもって取り組むという姿勢が自然に形成されている様
子です。

さらに、会社全体として、働きやすい職場づくりや女性活躍推進等に積極的に取り
組んでおり、イクボス達が、業務のマネジメントをしながら、柔軟な働き方につながる
制度や仕組みを安心して活用できる職場の雰囲気づくりを支えることによって、育児
休業を取得した女性の職場復帰率100%、男性の育児休業取得、残業時間削減など
が実現されています。



ポイント} イクボス宣言をして意識改革を

部署によって人員配置や業務内容、業務量など、状況が異なります。各部署で、ボスが自分の部
下たちの仕事と私生活の充実、さらに業績や成果向上実現のために何ができるのか考え、イクボス
宣言という形で示し、具体的な行動へつなげていきましょう。

会社概要

株式会社青森ダイハツモーターズ

・従業員数281名。
・事業内容/新車・中古車販売、自動車整備、部品販売、損害保険代理店業務等
●住所:〒038-0003 青森市大字石江字岡部85-3
●TEL:017-766-2211 FAX:017-782-1082
●URL: <http://www.aomori-daihatsu.co.jp>

取組

- あおり働き方改革推進企業認証取得 (H29.6)
- あおりイクボス宣言企業登録 (H30.5)
- 厚生労働省くるみん認定 (H30年度) など

あおもりイクボス宣言企業募集中!!

県では、従業員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を応援する「あおもりイクボス宣言企業」を募集しています。あおもりイクボス宣言企業については、ホームページ等の広報媒体を利用して県民に広く周知します。

「イクボス」とは

職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績においても結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことのできる上司（経営者・管理職）のことを指します。

イクボス的マネジメントにより期待される効果

多様な働き方ができる職場づくり



優秀な人材の確保
離職率低下



魅力ある商品開発
競争力アップ



組織の長期的成長
業績の向上の実現

共働き、育児中、
介護中などの
従業員のフォロー



情報共有
チームワーク強化



コスト削減
生産性向上



あおもりイクボス宣言企業に登録されると……

- ・求人票へ「あおもりイクボス宣言企業」である旨の表示が可能。
- ・希望に応じてイクボスバッジを配布。
- ・「あおもり働き方改革推進企業」認定基準の1つである『「働き方改革」に関する風土づくりに努めていること』を満たす。



イクボスバッジ

イクボス宣言企業登録の流れ

STEP1

企業の代表者、管理職が「イクボス」として具体的な取組を示した宣言をする。

STEP2

「イクボス宣言」したことを、会社のホームページに掲載するなどにより、公表する。

STEP3

宣言文(写)及び「イクボス宣言」したことを掲載したホームページ(写)等を登録申込書に添付し、県に送付する。

イクボス宣言例

1. 私は、仕事を効率的に終わらせ早く帰る部下を評価します。
 2. 私は、土日、定時以降には、仕事の依頼をしません。(できるだけ)
 3. 私は無駄に残らず、率先して早く帰ります。
 4. 「え、男なのに育児？」などは絶対に思いません。
 5. 私は部下のどんな相談にも応じます。
- 〇〇年〇〇月〇〇日
〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇